

議 事 要 旨

会議の名称	令和6年度 第5回南あわじ市ケーブルテレビ自主放送番組審議会
開催日時	令和6年8月7日（水）午前10時00分～午前11時50分
開催場所	南あわじ市役所 本館304・305会議室
出席者 委員：7名 稲本保男、中尾隆太、山下好正、木田朱美、土肥一二、奥井光子、松本富美子 山田亜紀乃 （欠席者：市川富夫） 事務局6名 副市長 喜田憲和、 総務企画部付部長（企画担当） 家田和幸 総務企画部副部長（企画担当）兼ふるさと創生課長 中嶋宏昭 南あわじプロモーション室長 奥田泰大 映像企画係長 前野洋司	
審議事項 1. 自主放送番組について 2. 放送番組の審議 ①市内で多発！！特殊詐欺被害にご用心！～南あわじ警察署からのお知らせ～ ②イノシン出没注意！通学路で野生鳥獣に出会ってしまったらー ③地域に学ぶ！トライやる・ウィーク 今年度もはじまります！ ④南あわじ市の“春”を感じる学校給食 地産地消学校給食～辰美小学校4年生～ ⑤能登半島地震被災地から…南あわじ市のトイレカーに感謝の声が届く	
会議の概要 1. 開会 ・事務局から開会の言葉 2. あいさつ ・南あわじ市副市長 喜田憲和 3. 委嘱状交付 ・喜田副市長から各委員へ委嘱状を伝達 （欠席者については事務局より送達） 4. 会長及び副会長の選出 ・会長：稲本委員、副会長：中尾委員	
5. 審議事項 (1)放送番組の審議	

(令和6年度に放送した5番組を視聴いただき、それぞれについて各委員より意見を聴く)

① 市内で多発！！特殊詐欺被害にご用心！～南あわじ警察署からのお知らせ～

② イノシシ出没注意！通学路で野生鳥獣に出会ってしまったらー

(委員) すごく面白いと思いました。面白くない内容は見えても時間が長く感じるんですけど、先ほどの2件は、要点を絞って、警察署員の方の熱意なんかもすごくよく伝わりました。驚きましたすごくいいなと思いました。

(委員) 特殊詐欺被害防止の番組①は、かなり効果あると思います。

(委員) イノシシ出没注意の番組②も重要な番組だと思う。

(委員) 放送される時間は見やすい時間帯ですか。

(事務局) 最初は、さんさんニュースの枠（午前7時～、正午～、午後4時～、午後7時～、午後10時～）で、1日5回皆さんがよく見るであろう時間に1週間放送し、それ以降は10時台とか午後3時台、深夜0時台のお知らせ枠で放送しています。あと「撮っておき」という2時間の枠がありますが、その枠の空いた時間に放送したりして、ランダムに放送しています。

(委員) ①と②の番組は今後放送されますか。

(事務局) 今後も各種お知らせ番組枠などで放送します。

(委員) 放送を終えた番組をこの会で審議するのに少し疑問です。番組をどういうふうに流していったらいいかっていうのは、放送以前に話し合った方がいいと思っています

(事務局) 放送後のものですが、番組をもっとこういうふうにしたらいいか、こんな番組を増やしてほしいとかご意見をお聞きして、それを今後の番組制作に反映させて行きたいと考えております。この後見て頂く番組も放送が終わったものですが、よろしくお願いいたします。

③ 地域に学ぶ！トライやる・ウィーク 今年度もはじまります！

(委員) この番組もすごく面白かったです。最後の南淡中学校と沼島の子供の絵が出ていた時のナレーションは、生徒が声を入れたんですか。

(事務局) 中学生の声です。

(委員) せっかく中学生の声で紹介しているので、声を入れた生徒の名前を出してあげたらいいのでは。

(事務局) 貴重なご意見をありがとうございます。学校の先生と生徒に確認する必要がありますが、検討をします。

④ 南あわじ市の“春”を感じる学校給食 地産地消学校給食～辰美小学校4年生～

(委員) 給食を食べる前に子供たちに地産地消を教えることはすごくいい。子供たちの親が生産者である場合もあると思いますが、南あわじ市産の食材を使って調理された給食が出ているということ子供に学んでもらう良い機会と思う。中学生にとって良い経験になるトライやるウィークを番組で市民の方に知ってもらうことは意味がある。子供が出るとか、知り合いが出ることがあれば口伝えで広まることあるが、もっと皆さんに見てもらえるように、番組宣伝してほしい。

(委員) 学校とか保育園で、さんさんネットの番組取材が来て放送があることを保護者に対し、宣伝していることは、良いことだと思う。

(事務局) 番組の放送予定は、広報の見どころと、SNSで特に見てほしいものは切り出したりして周知しています。

(委員) 給食センターの中を上からの映像で撮っているのは面白い。全部の学校の子供たちに給食センターの一日の様子を見せてあげたいと思いました。面白い放送をしていることについて、何か違う形で、見てみようと思う宣伝の仕方を考えた方がいいと思います。

(事務局) 給食センターの中の撮影は、ハンディカメラを使っています。焼いたり、煮たりするエリアがわかるように撮り、給食センターを紹介する番組を作る計画をしていますので、宣伝方法も考えたい。

(委員) 給食センターの紹介番組だと堅苦しいので、誰かが探検に行くみたいな感じで、例えば子供が僕たちの給食ってどう作られているんだろうと取材する感じの番組であれば、家族に興味を持って見てもらえる。硬い番組にすると惜しい。

(委員) 6年生の子供がいるんですけど、今まで子供が出る運動会などしか見なかったけれど、イノシシ出没注意の番組は子供に見せておこうと思いました。ケーブルテレビを見る機会を増やします。

⑤ 能登半島地震被災地から…南あわじ市のトイレカーに感謝の声が届く

(委員) この番組を見て南あわじ市を誇らしく思いました。内容も良く、感動しました。強いて言わせていただいたら、3人の職員の対談映像が暗くて、少し光を当てたらもう少し顔が輝くと思いました。どこかのフロアの一角で撮影されたんですか。

(事務局) 市役所の会議室で撮影しました。今年度LEDの簡易照明の購入を予定していますので、改善を図りたいと思います。

(2)番組改編について

(事務局) 今年10月からの番組改編の内容について昨年の10月に開催した当審議会では審議を終えていますが、新しい任期となり委員の変更がありましたので、改めてご説明をさせていただきます。

来庁された方に対面でアンケートを実施し、番組の視聴状況や番組への要望を調査しました。その結果、ニュース番組の更新頻度を下げて有益な情報を提供したいという意見がありました。また、長編の「撮っておき」枠では健康や伝統文化の番組が希望されていました。番組をSNSで掲載した場合に60%の人が見ると回答しました。他のケーブルテレビ局の動向も調査しました。これらの結果を踏まえ、市民が求める情報を提供するため、市政情報、健康、防災などの特集番組をメインに放送します。それに伴って、ニュースの更新頻度を週5回から週2回に変更し放送時間帯を規則的に変えます。注意喚起のお知らせやイベント案内、観光情報などの放送枠を設けた番組表にしております。さらに、SNSを活用して若者への情報発信も行います。これらの改編は10月実施に向けて取り組んでいきます。

(委員) 見落とした方のために再放送することは、見逃してもよいということに繋がりが、視聴者を増やすことに繋がらないと思う。必ずこの時間に見てもらうように、きちんと宣伝して集中して見てもらうことが大事だと思います。それと、特殊詐欺とかイノシシの番組は、CMとして複数回流すが良い。職員は少ない人数なので、個人でYouTubeに掲載している方から映像提供してもらう。放送するしないの審査は必要だと思いますが、これまでの番組とは大きく内容の違ったものが流れることは、話題性にもなると思いました。

(事務局) 生活パターンの違いなどによって放送を見れなかった場合には、再放送がある良さはあると思います。

(委員) 再放送を劇的に減らさなくて良いと思いますが、今まで見てない人に見てもらう課題に対して、大きく変えようとするには思い切った対策も必要だと思います。

(事務局) ご意見ありがとうございます。今年の10月改編は、この形で進めさせていただいて、今後、市民等の方のニーズをつかみながら、本日お聞きしたご意見を踏まえ、更に改編を重ねていきたいと考えています。

(事務局) いかに見ていただくかがポイントと思っています。SNSを若い人に見てもらって、ケーブルテレビで振り返っていただくのもそうですし、特集番組を重点的にやるというのは魅力を見ていただくということ、あと市民の人にも関わってもらえるのも一つのいいアイデアだと思います。職員の数も限られてますので、番組を埋めるのに市民に協力してもらって、番組放送が市民の話題になってほしいという思いは同じです。貴重なご意見ありがとうございます。

(3)その他

(委員) スポーツ推進委員をしています。スポーツ人口の減少を食い止めることが課題です。モルック、スマートゴルフ、卓球バレー、ビーチバレーなどの取材をして放送してもらっていますが、他にもいろんなスポーツが市内で行われていて、スポーツに興味を持ってもらえる番組を放送してもらいたい。

(事務局) スポーツの特集番組を制作する時はご相談させていただきたい。

(事務局) スポーツは、楽しさや健康に関わる活動ですが、スポーツをする人口が減少しているという課題に対して、スポーツ推進委員さんとしては、市内で様々なスポーツをすることができることを放送番組で伝えて、実際にスポーツをやってみるところに誘導することが狙いであると思いますので、ご協力を頂きながら制作させて頂きたいと思います。

本日は本当に貴重なご意見多く頂きました。今後の番組作りに活かしていけるものと思っています。

6. 閉会

・総務企画部副部長兼ふるさと創生課長より閉会あいさつ